



【学校教育目標】 日本一 学びあう学校

南風 ~ MINAMI KAZE ~

高知市立南海中学校 学校便り No. 3

令和5年4月10日(月) 通算2149号

高知市長浜5235 Tel.088-842-3291

一冊の教科書の重みを心に感じて

教科書配付

今から60年ほど前、教科書は学校で配られるのではなく、新学期を迎える前に各家庭でそろえることになっていました。保護者は、3月になると知り合いから古い教科書をゆずってもらったり、古くて使えないものやないものだけを買うなどして、とても苦労していました。一日働いて300円ほどの収入だった時代に、新しい教科書を全部そろえると小学校で700円、中学校で1200円(今の価値でおよそ2万円)ほどかかりました。子どもの数が今に比べて多かったその当時は、子どもに教科書をそろえてやるだけでもたいへんな出費でした。



日本国憲法第26条で、「義務教育はこれを無償とする」と定められていましたので、昭和36年(1961年)、高知市の長浜地区で「教科書をタダにする会」が結成され、高知市議会や教育委員会を相手に、教科書を無償で配付してほしいと数々の運動が展開されました。それまでは「教科書は保護者が買うのが当たり前だ」という考えが日本中の人々に定着していたことに反対するわけですから、その運動はとても困難なものでした。しかし、そのような困難に負けない粘り強いたたかいは、徐々にたくさんの人々に支持され、全国に広がっていきました。

そしてついに政府も、高知市の長浜という小さな町から始まったこの運動の考えを受け入れ、運動を始めて2年10か月後の昭和38年(1963年)12月には、新たに法律(義務教育諸学校の教科用図書の無償に関する法律)がつくられ、全国の子どもに教科書が無償で配られるようになり、それが今では当たり前になっています。



当時の長浜小での教科書配付の様子

すべての人々は生まれながらに平等であり、人間として生きる権利(基本的人権)をもち、この権利は誰にもおかすことのできない永久の権利として、日本国憲法で保障されています。教科書無償運動はこの基本的人権を守る運動だったと言えます。

この教科書無償運動は、私たちにいろいろなことを教えてくれています。例えば、人間としての権利を守ることの大切さ。そのためには、何が正しく、逆に何を变えていく必要があるのかを見ぬく力や、正しい知識を得るためには学習が必要であるということです。

また、目的を達成するためには、力づくではなく、筋道をたてた話し合いやお互いに支えあうことが大切だということです。

そして、もう一つは「一冊の教科書の重み」です。今は時代が違ふとひとことでかたづけしてしまうのではなく、今だからこそ「一冊の教科書の重み」がわかる人になってほしいと思います。この地で、

初めて「自分の教科書」を手にした60年前の先輩たちの気持ちがわかる人間に育ってほしいです。教科書を決して粗末にしたり、落書きをしたりすることのないよう、ぜひ大切に扱ってください。

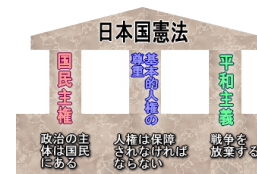
令和5年度の教科書の費用(高知市立中学校)

教科	1年	2年	3年
国語	国語 828円	828円	856円
	書写 451円	—	—
社会	地理 801円	—	—
	歴史 801円	—	—
	公民 —	—	801円
	地図 1,138円	—	—
数 学	633円	633円	633円
理 科	769円	769円	769円
音楽	一般 258円	259円	252円
	器楽 286円	—	—
美 術	339円	340円	339円
保健体育	435円	—	—
技・家	技術 680円	—	—
	家庭 680円	—	—
英 語	339円	339円	339円
道 徳	449円	449円	449円
合 計	8,887円	3,617円	4,438円
	16,942円		

南海中を含む高知市立中学校で、今年度で使用される教科書の値段は左の表のとおりです。

たくさんの教科書が配付される中学1年生は1人当たり8千円ほど、3年間で1万7千円ほどの費用がかかっています。

これは、これからの日本を支えていく人材を育成するために、日本全体で教育を大切にしようとする考えから、日本国憲法で定められた権利と義務です。教科書は無償ですが、その費用は多くの国民の負担で賄われています。



日本国憲法

第26条(教育を受ける権利、教育の義務)

- すべての国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。
- すべての国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う。義務教育は、これを無償とする。

南海中の生徒数が25名も増加 学校行事や部活動の活性化に

1年生74名、2年生48名、3年生68名で、減少傾向だった生徒数が5年ぶりに増加しました。

南海中学校の生徒数の推移(昭和30年以降)

